

2012年(平成24年)9月21日 金曜日

カウラでの慰霊祭へ

富山日豪NZ協会が出席

富山日豪ニュージールランド協会のメンバーが20日、創立30周年を記念したオーストラリア視察に出発した。戦中に起きた日本人捕虜集団脱走事件の死者が埋葬されている南東部の町カウラを訪ね、慰霊祭に出席する。6日間の日程でシドニー、メルボルンも回り、草の根交流を進める。

会長の新田八朗日本海ガス社長、顧問の森政雄リードケミカル社長、林和夫朝日建設社長、黒川伸一黒川製作所社長ら15人が訪問する。

カウラでは1944年8

月、連合軍の捕虜収容所から500人を超える日本兵が脱走し、230人が死亡する事件が起きた。捕虜となることを恥とした旧軍の戦陣訓が招いた悲劇で、死者は日本人墓地に埋葬された。

一行は慰霊祭に参加するほか、長く日本人墓地を管理し、現地の日本庭園の整備にも尽力したドン・キプラーさんと懇談する。シドニーでは、オーストラリア側の交流団体、全国豪日協会連盟のマクリン・トック会長による交流パーティーを楽しみ予定。

2012年(平成24年)9月24日 月曜日

日本の戦没者追悼

日豪NZ協会

創立30周年を記念し、オーストラリアを訪問している富山日豪ニュージールランド協会のメンバーが23日、多くの日本兵が埋葬されている南東部の町カウラを訪ね、追悼法要に出席した。日豪双方の戦没者の墓前で手を合わせた。

カウラでは1944(昭和19)年、捕虜収容所から500人以上の日本兵が脱走し、



日本人の戦没者を慰霊するメンバーと豪カウラ

約230人が死亡。捕虜になることを恥辱とする旧日本軍の戦陣訓が原因の悲劇で、日本人墓地が設けられた。

法要では同協会の新田八朗会長、林和夫副会長が千羽鶴

法要室完備

法要会席・各種会食

香りの里

射水市野手(小杉IC南へ2分)

TEL (0766) 56-0300

<http://www.kougetu.jp/>

をささげ、メンバーが日本兵一人一人の墓前で手を合わせた。慰霊のため「ふるさと」など日本の歌を歌った。

21日には、長く現地の日本人墓地を管理し、多くの日本人の感謝を集めるカウラ豪日協会長、ドン・キプラーさんと懇談した。

一行の15人は26日まで同国に滞在し、シドニーやメルボルンも回る。